

### 3 (3) 世代別・性別による政策の重要度の視覚化

#### (1) 分析目的

どの世代・性別の市民がどのような政策分野を重要視しているかを視覚化するために分析を行った。この視覚化により、世代・性別と各分野の政策重要度の関係について、全体的な傾向を探ることができる。また分析結果を用いることで、例えば子育て支援においては「子育てへの意識のギャップを埋めるため若年層男性へのPRを強化する」というように、どの世代・どの性別に対してどのような取組を行うべきか等を検討することが容易となり、今後の政策や施策を検討する上で参考となりうる。

#### (2) 分析方法と図の見方

次ページの図は、2項目間の関連強度を視覚的に表現できる方法として有効な手法である「コレスポネンス分析」を用いて、世代別・性別による各政策分野の重要度の違いを相対的な距離で示したものである。距離が短いほど重要視していることを表す。例えば若年層女性は「人権・男女共同参画」「子育て支援」「学校教育」のすぐ近くに位置しているが、これは他の世代・性別と比べてこれらの政策を重視する傾向が強いということを意味している。

なお、図の軸や単位は統計的に計算されたものであり、軸の設定や単位それ自体に意味があるわけではない。また、この図は相対的な関係を表したものであるため、すべての世代・性別で重要度が高いものも、逆にすべての世代・性別で重要度が低いものも同様に中央近くに位置されることに注意が必要である。

#### (3) 分析結果

図からは、各世代・性別と各政策分野の関係について、一定の傾向を見出すことができる。

図の上側に女性が位置し、下側に男性が位置している。図の左から右に向かって、若年層・中年層・高年層の並びとなっている。若年層では男女間の距離が長く、性別により重視する政策に大きな違いがある。反対に中年層・高年層では男女間の距離が短く、若年層と比較して性別による違いは少ない。

図の上半分位置しているものは女性が重視する分野、下半分に位置しているものは男性が重視する分野であると解釈できる。女性は「子育て」「医療」「福祉」など生活に密着した分野を重視する傾向があるのに対して、男性は「産業」「都市機能」「観光」など経済や地域開発に関連する分野を重視する傾向がある。

図の左にあるものほど若い世代が重視している分野、右にあるものほど高齢の世代が重視している分野と解釈できる。若年層は「子育て」「学校教育」など、高年層は「高齢者福祉」「コミュニティ」などの分野を重視する傾向がある。

